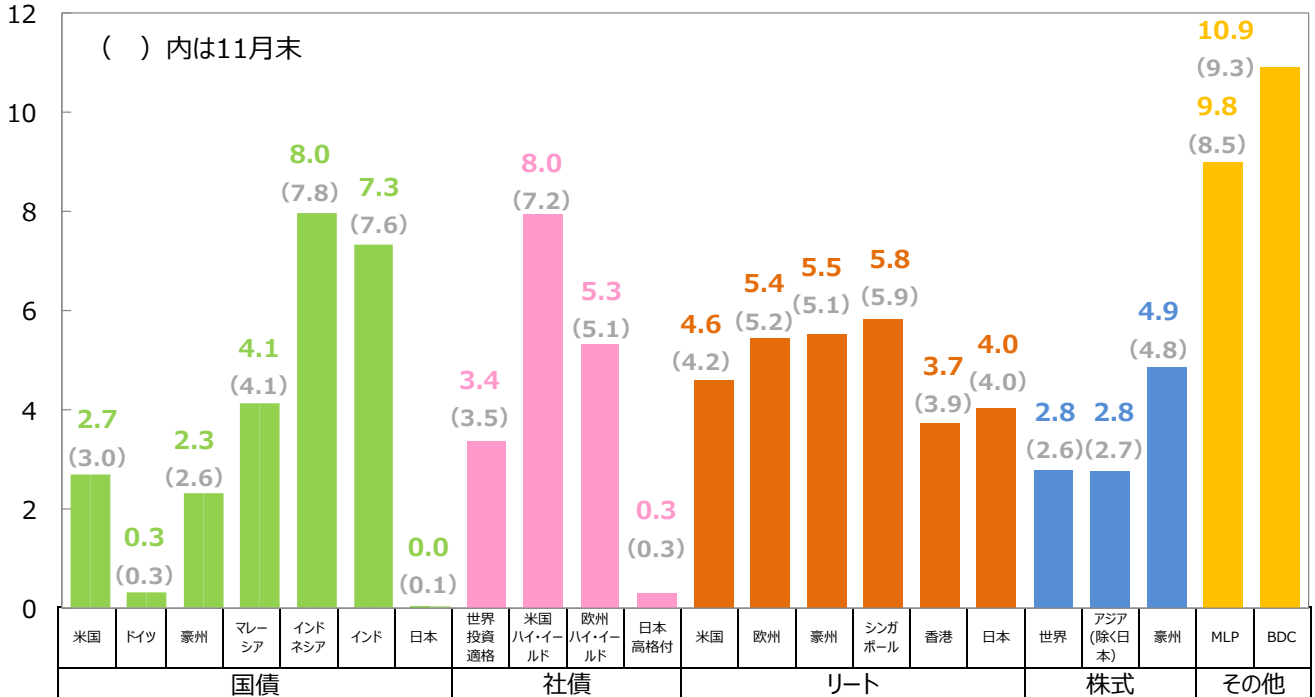


今日のトピック 主要な資産の利回り比較 (2019年1月) 国債と社債の利回り格差が拡大

- 12月は、米国、豪州、日本など主要先進国の国債利回りが低下しました。米連邦準備制度理事会 (FRB) が利上げ路線を堅持する姿勢を明確にしたことで、米国経済の先行きに対する不透明感が強まり、株価や原油価格が下落したことが背景です。一方、ハイ・イールド債を中心に社債利回りが上昇しました。リスク回避の流れが強まる中で、国債と社債の利回り格差が拡大する展開となりました。
- リートの配当利回りは、シンガポール、香港、日本以外が上昇しました。株式、MLP、BDCの配当利回りも上昇しました。

【代表的な債券利回り、リート・株式等の配当利回り (2018年12月末時点)】



(注1) 国債は10年国債利回り。社債は世界投資適格社債がBloomberg Barclays Global Aggregate Corporates Index、米国ハイ・イールド社債がBloomberg Barclays U.S. High Yield Index、欧州ハイ・イールド社債がBloomberg Barclays Pan-European High Yield Index、日本高格付社債がNOMURA-BPI事業債指数。リートはすべてS&P先進国リート指数の主な国・地域指数。株式は世界株式がMSCI AC ワールドインデックス、アジア (除く日本) 株式がMSCI AC アジア (除く日本) インデックス、豪州株式がMSCI豪州インデックス。MLPはアレリアンMLP・インデックス、BDCはウェルズファーゴBDC・インデックス。

(注2) MLPは有限責任組合 (Master Limited Partnership) で、米国で行われている共同投資事業形態の1つです。エネルギーや天然資源に関する事業などを行っているMLPがあります。BDCは米国の事業開発会社 (Business Development Companies) です。銀行とは異なる企業形態で、中堅企業等向けに、融資や出資 (株式の取得など) を行う会社です。

(出所) Bloomberg L.P.、野村証券金融工学研究センター、S&P Dow Jones Indices LLC、FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2018年12月28日 2018年のリート市場の振り返り グローバル・リートは下落、リートは堅調
2018年12月21日 2018年の世界債券市場の振り返り 米国債利回りは上昇、日独では低下

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。